

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1101003

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○公営住宅緑町団地建替事業—平成20年度から24年度の5ヶ年 ○公営住宅沢木団地建替事業—平成23年度 ○公営住宅新日の出団地建替事業 ・平成24年度基本・実施設計
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 良好な住宅・宅地の供給	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	公営住宅整備事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	11 町有施設整備室	
事業主体	雄武町	関係課	3 税財管理課	
事業指標	公営住宅の建替え		#N/A	
事業目標	公営住宅建替40戸	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	1 入居者による住民説明会の開催	関係例規・法令名	2 公営住宅法	
住民協働		関係個別計画名	2 公営住宅ストック総合活用計画	

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画 内容	○公営住宅緑町団地建替事業 ・緑町団地建替—8棟32戸 ・団地内整備—団地内道路171m 通路140m 駐車場整備32台 児童遊園400㎡ ・既設住宅除却—9棟36戸 ・移転費—25件	公営住宅緑町団地 建設—2棟8戸 団地内道路—L=95m 団地内通路—L=29m 駐車場整備—8台 既設除却—1棟4戸 移転費—8件	公営住宅緑町団地 建設—2棟8戸 団地内通路—L=28m 駐車場整備—8台 既設除却—2棟8戸 移転費—8件	公営住宅緑町団地 建設—2棟8戸 団地内道路—L=29m 団地内通路—L=48m 駐車場整備—8台 既設除却—3棟12戸 移転費—8件 敷地造成工事	○公営住宅緑町団地 建設—1棟4戸 団地内道路—L=47m 団地内通路—L=24m 駐車場整備—4台 既設除却—3棟12戸 敷地造成工事 ○公営住宅沢木団地 建設—2棟4戸 団地内通路—L=65m 駐車場整備—6台 既設除却—2棟8戸 敷地造成工事	○公営住宅緑町団地 建設—1棟4戸 団地内通路—L=11m 駐車場整備—4台 児童遊園—1個所400㎡  ○公営住宅新日の出団地 基本・実施設計 1LDK～3LDK10棟38戸	
	○公営住宅沢木団地建替事業 ・沢木団地建替—2棟4戸 ・団地内整備—通路65m、駐車場6台 ・既設住宅除却—2棟8戸						
○公営住宅新日の出団地建替事業 ・基本・実施設計—1～3LDK10棟38戸							
事業費(千円)	724,264	155,100	129,627	167,300	166,500	105,737	
計画 事業費	財源内訳						
	国庫支出金	258,338	49,087	47,131	61,880	37,558	
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	465,926	106,013	82,496	105,420	103,818	68,179	
事業費(千円)	713,357	149,292	126,739	165,851	161,064	110,411	
実績 事業費	財源内訳						
	国庫支出金	289,342	65,157	54,353	64,381	43,283	
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	424,015	84,135	72,386	101,470	98,896	67,128	
関連 事項	(特定財源の詳細等)						
	○社会資本整備総合交付金	【評価・実績】	(実施内容等) 建設—2棟8戸 団地内道路—L=95m 団地内通路—L=29m 駐車場整備—8台 既設除却—1棟4戸 移転費—8件 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 建設—2棟8戸 団地内通路—L=41m 駐車場整備—8台 既設除却—2棟8戸 移転費—8件 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 建設2棟8戸 既設除却3棟12戸 団地内道路—L=29m 団地内通路—L=48m 駐車場整備—8台 移転費—2件 敷地造成工事 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 建設 緑町・沢木 3棟8戸 団地内道路—L=47m 団地内通路—L=89m 駐車場整備 10台 既設除却 5棟20戸 敷地造成工事 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	8戸	8戸	8戸	8戸	4戸
	年度達成率		96%	98%	99%	97%	104%
	全体達成率		21%	38%	61%	83%	98%
事業進捗状況		☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	公営住宅整備事業	評価者 管理職 職氏名	町有施設整備室長	佐竹 邦夫
		評価者 作成者 職氏名	建築係長	宇野 安久

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	公営住宅入居者、町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	建替計画戸数の確保	
【抱える課題やニーズは】	老朽狭隘公営住宅の住環境整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	居住水準の向上と安全で良好な住環境整備	① 建設戸数の実績	目標年度	平成24年度
			目標値	4戸
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	良質な住宅の供給及び良好な住環境の確保	②	実績値	4戸
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札により民間業者に発注し、公営住宅緑町団地1棟4戸の建替を実施した。	目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民に対する住宅供給施策としての公営住宅の老朽化・狭隘化の解消は町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	建替事業の推進により、老朽・狭隘住宅の解消と安全で安心な住環境の向上が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札によって事業費が抑制されたこと及び建替による修繕等の維持管理費が抑制されたことは効率的と判断される。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	事業実施により、良好な住環境が確保されたことは公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
老朽・狭隘な住宅の解消と安全で良好な住環境の確保のための公営住宅整備は、今後も計画どおり進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
公営住宅ストックの効率的な更新整備を行い、多様化する住宅ニーズや公営住宅需要への的確な対応のため、必要な事業であり、継続・現状維持が適当である。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止